

京都大学 田中哮義教授 SFPE の Fellow に

この度、京都大学田中哮義教授が SFPE 日本支部では最初の Fellow になることが決まりました。Fellow は SFPE のメンバーの中で、最も高く位置付けられる資格です。

Fellow になるための要件は、会員歴 10 年以上で、かつ防火部門において顕著な業績と知識を有していることが必要です。また申請時には発起人と 5 名の会員の推薦が必要で、顕彰委員会で適正さを審議され、理事会の承認を経て、決定されます。

先生の長い間の性能的防火設計技術の発展への貢献が国際的に評価されると同時に SFPE に対しても、「性能設計、性能規定に関する国際シンポジウム」には、第 1 回から国内にケーススタディーWG を組織し日本の提案を発信するために人的基盤を整備し、日本の性能的防火設計の実力を海外に示しました。また SFPE 本部の防火性能委員会等の委員会活動を行っております。これらの活動を通じた SFPE への貢献が評価された結果であります。

Fellow の称号は、10 月 19 日のアリゾナでの本部年次総会で授与されます。

日本支部全体として祝いたいと思います。

京都大学 原田和典准教授 SFPE Harold E. Nelson Service Award を受賞

この度、京都大学原田和典准教授（日本支部理事）が SFPE 本部の Harold E. Nelson Service Award を受賞することが決定しました。この賞は SFPE 活動に顕著な貢献があった者に与えられる賞であります。原田准教授は 1996 年の第 1 回から 2006 年の第 6 回まで「性能基準と火災安全設計法に関する国際シンポジウム」のケーススタディーを中心となってまとめ、日本案を発表してきました。また昨年、ノースカロライナで行われました SFPE の年次総会では「Development and Spread of Japanese FSE-Past, Present and Future」という演題で日本の防火技術の状況を紹介する講演を行う等、SFPE 活動への貢献が評価された結果であります。

おめでとうございます。